保証書付

取扱説明書

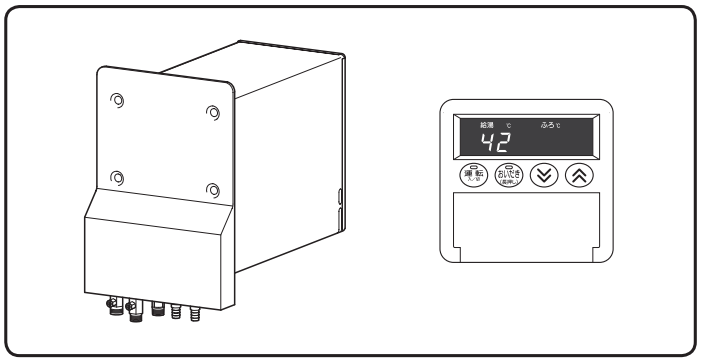
型式名	WF-806 WF-806L

風呂給湯器

品　　名	HK-808RFWHG	HK-808RFLHG
機器コード	11-055-25-10818	11-055-25-10819

このたびは風呂給湯器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

●ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用ください
●この説明書の 33 ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。



TOKYO GAS

734T1015KD

もくじ

はじめに
特　長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・ 2
各部の名まえとはたらき ・・・・・・・・・・10

使用方法
初めてお使いいただくときは ・・・・・・・13
お湯を使う（温度設定） ・・・・・・・・・・14
おいだき（保温）をする ・・・・・・・・・・16
表示画面のモードを切替える ・・・・・・・18

このようなときは
凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法） ・・19
長期間お湯を使用しないとき ・・・・・・・21

必要なときに
点検・お手入れ ・・・・・・・・・・・・・・22

故障かな？
修理を依頼される前に ・・・・・・・・・・24
エラーコード表示がでたら ・・・・・・・・26

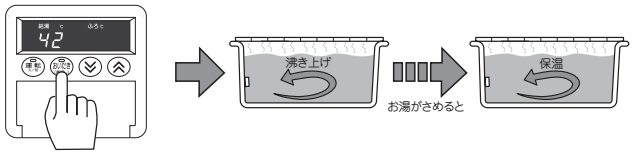
その他
寸　法　図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・27
仕　　様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
アフターサービスについて ・・・・・・29
保　証　書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・33
サービス網一覧表 ・・・・・・・・・・・巻末

はじめに　特　　長

1 おいだきスイッチでおふろ沸かしができます。

浴そうにお湯（または水）をはった状態でおいだきスイッチを押せば、あらかじめ決めておいた湯温でおふろを沸き上げます。
沸き上げ完了から設定した保温時間内なら、お湯がさめれば自動で保温します。

※ 但し、電源投入時または停電復帰後、保温時間の設定は 0 分（切）です。



2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。

リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37 ～ 60℃まで設定できます。

主な記号の説明

記号	内　　容	記　載　例
□	操作の順序を表します。	(1)
📖	参照していただきたいページを表します。	(14)
■	本製品が操作などにより、表示･動作する内容を表します。	■運転ランプが点灯します。
●	操作をともなう、知っておいていただきたいことを表します。	●一度設定すれば記憶します。
◆	その他の知っておいていただきたいことを表します。	◆通常は、節電モードをおすすめします。

はじめに　安全上のご注意

■安全に使用していただくための重要な項目ですので、必ずお読みください。
■ここに示した事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認してから本文をお読みください。

注意表示	意　　味
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意　味	絵表示	意　味	絵表示	意　味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行う事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気禁止		電源プラグを抜く
			接触禁止		ぬれた手の接触禁止

⚠ 危険

■ガス漏れに気づいたとき

① **すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じる。**
② 窓や戸を開ける。
③ お買い求めの販売店またはもよりの東京ガスへ連絡する。

［ガス元栓の例］

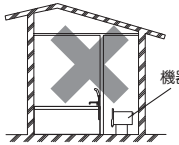
必ず行う

● お買い求めの販売店や東京ガスの係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、漏電ブレーカーの抜き差し、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」、周辺の電話を使用しないでください。
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火気禁止

■屋内に設置しない

● この機器は、屋外用（外壁貫通設置型）です。
絶対に屋内に設置しないでください。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因となり大変危険です。



禁　止

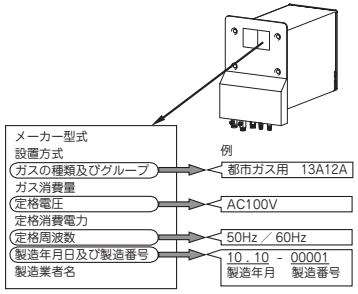
⚠ 警告

■使用ガスの種類及び使用電源の確認をする

● 機器の銘板に表示してあるガス種及び電源を確かめてください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、爆発着火によるやけど、機器が故障する原因となります。
● 転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
分からない場合は、お買い求めの販売店または東京ガスへご連絡ください。

◆ ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。

必ず行う



⚠ 警告

■機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの東京ガスに依頼する

● 不備があると火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。
安全な位置に正しく設置してご使用ください。

必ず行う

■増改築などで機器や排気口を囲わない
波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

● 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

禁　止

■ガス接続工事はお買い求めの販売店またはもよりの東京ガスに依頼する

● この機器のガス接続はねじ接続です。不備があるとガス漏れの原因になります。

必ず行う

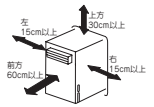
■使用中の外出、就寝はしない

● 思わぬ事故や故障の原因になります。

禁　止

■燃えやすい物とは離す（樹木、木材、箱など）

● 木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ（WF-SLV）を使用し、10mm 以上の離隔距離を確保してください。
火災の原因になります。

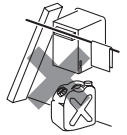


離隔距離

必ず行う

■機器の周囲に燃えやすいものを置かない
（洗濯物、新聞紙、灯油など）

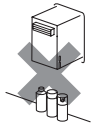
● 引火して火災の原因になります。



禁　止

■機器や排気口の周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かない

● 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁　止

■機器や排気口の周囲で引火のおそれのある物（スプレー、ガソリン、ベンジンなど）を使用しない

● 引火して火災の原因になります。

禁　止

⚠ 警告

■シャワーなどお湯を使用するときは手で湯温を確認してから使用する
- 最初に熱いお湯が出ることがあります。また高温で使用直後、すぐに再度出湯する場合には熱いお湯が出ることがあります。やけどのおそれがあります。

必ず行う
高温注意

■入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴する
- おいだき中やおいだき後は、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。やけどのおそれがあります。

必ず行う
高温注意

■おいだき時は、循環アダプタに近づかない
- やけどのおそれがあります。

禁　止

■子供を浴そう内で遊ばせない
また、浴そうの循環アダプタ付近に潜ったりしない
- おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。

禁　止

■地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う
① **給湯栓を閉める。**
② **運転スイッチを「切」にする。**
③ ガス元栓、給水元栓を閉める。

［ガス元栓の例］

［給水元栓の例］

必ず行う

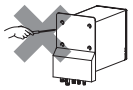
■点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合は、ただちに使用を中止し、ガス元栓を閉める
- 「修理を依頼される前に」（24,25 ページ）の項にしたがって処置をする。上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する。

［ガス元栓の例］

必ず行う

⚠ 警告

■分解・修理・改造は、自分でしない
- 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。



分解禁止

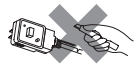
■機器本体やガス接続口・排気口に乗ったり、無理な力を加えない
- けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

禁　止

■太陽熱温水器には絶対に接続しない
- ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。

禁　止

■電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままで使用しない
- 感電や火災の原因になります。



禁　止

■漏電ブレーカーは根元まで完全に差し込む
- 差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだ漏電ブレーカー、緩んだコンセントは使わないでください。

必ず行う

■漏電ブレーカーのほこりなどは定期的に取る
- 漏電ブレーカーにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。漏電ブレーカーを抜き、乾いた布で拭いてください。

必ず行う

■ぬれた手で漏電ブレーカーにさわらない
- 感電のおそれがあります。

ぬれた手の接触禁止

■コンセントの定格を超える使い方をしない
- たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

禁　止

⚠ 注意

■電源コードを引っぱって漏電ブレーカーを抜かない
- 電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。

禁　止

■給湯時は湯水混合栓のハンドル以外に手を触れない
- やけどのおそれがあります。

高温注意

■給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しない
- この機器は、給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しないでください。
  思わぬ故障や事故の原因となります。

禁　止

■漏電ブレーカーを抜いて消火しない
- 燃焼中に漏電ブレーカーを抜いて消火しないでください。
  機器の故障のおそれがあります。

禁　止

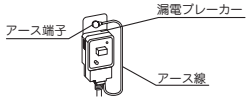
■使用中、使用直後は排気口やケーシングに触れない
- 使用中および使用直後は、機器本体の排気口やケーシングは高温になっていますので絶対に手を触れないでください。
  特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。

接触禁止

■給気口や排気口に指や棒を入れない
- 給気口や排気口に指や棒を入れないでください。
  故障やけがの原因となります。

禁　止

■必ずアースする
- アース線をアース端子に取付けてください。
  故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



アース接続

お願い

■業務用の用途で使用しない
- この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。
  著しく機器の寿命が縮まります。

■増改築時には燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないよう設置する
- 変色・破損・腐食の原因となります。

■塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する
- 塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
  また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
  （機器の点検・修理のための空間については、お買い求めの販売店または東京ガスへお問い合わせください。）

■設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので、十分配慮して設置する

■使用時の点火、使用後の消火を確認する
- 機器使用時の点火（リモコンの給湯表示部に 🔥 が点灯）、使用後の消火（リモコンの給湯表示部の 🔥 が消灯）を確認してください。

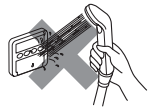
■硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤を使用しない
- 熱交換器が腐食したり駆動部を磨耗させる原因となるものがあります。
  使用するときは、入浴剤や洗剤のご注意文にしたがってください。

■浴そう内の循環アダプタをタオルなどでふさがない
- 循環不良となり、ふろのおいだきができません。
  また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれて、故障の原因となります。

禁　止

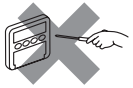
■この機器の付属品・純正部品以外は使用しない
- 機器の異常の原因になることがあります。

■リモコン清掃時に水をかけない
- リモコンは防水タイプになっていますが、入浴中や、お掃除などで故意に水をかけないでください。故障の原因となります。
  お掃除については 22ページの「点検・お手入れ」にしたがって行ってください。



禁　止

■リモコンを分解しない
- 思わぬ事故や故障の原因となります。



分解禁止

お願い

■機器や配管内に長期間たまった水は飲用や調理に使用しない
- 朝一番などのように長時間たまっていた水は、雑用水としてご使用ください。

■井戸水、地下水、温泉水で使用しない
- 水質によっては本体内の配管内部に異物が付着したり、腐食による水漏れの原因になります。その場合は保証期間内でも修理は有料となります。

■断水時には運転を停止し、給湯栓を閉める
- 給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
- 断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。
- 断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。
- 断水復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理に使用しない。

■雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を中止して漏電ブレーカーをコンセントから抜く
- 故障の原因になります。雷がやんだ後は、漏電ブレーカーをコンセントに差し込んでください。

■凍結による破損を防止する
- 機器内部の凍結予防は、19,20ページの「凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

■積雪で排気口がふさがれているときは使用しない
- 不完全燃焼の原因になります。

■停電のときのご注意
- この機器は電気で作動しますので停電中は使用できません。
- 停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
- 停電復帰後も自動的に運転されませんので、13～18ページの「使用方法」にしたがって操作してください。
- 停電復帰後は、設定していた温度、保温時間などが工場出荷時の設定になります。

■運転スイッチ「切」の状態でお湯側から水を出さない
- 機器内通水部分の結露により、故障の原因になることがあります。（シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。）

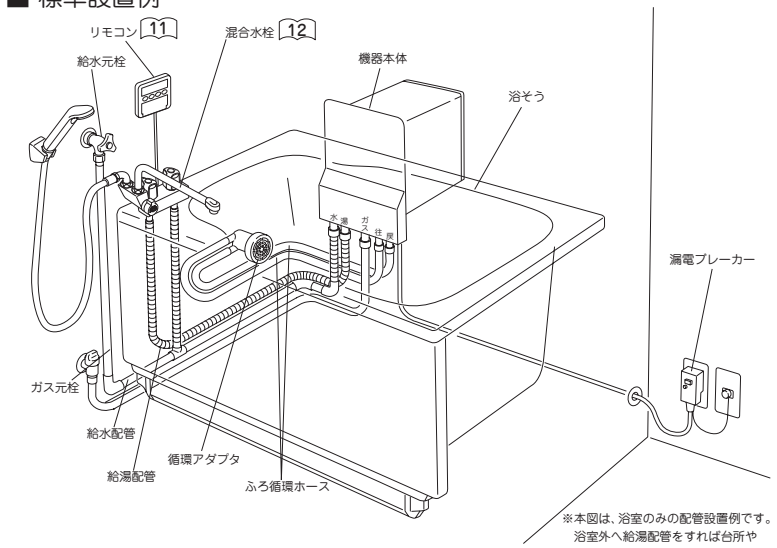
※ 水を流して凍結予防をする場合は、この限りではありません。

■運転中（機器燃焼時）のご注意
- 危機を使用中は、排気ガスが室内に流入しないよう浴室の窓や機器が設置されている近くの窓を閉めて使用してください。

■長期間使用しない場合
- 長期間使用しない場合は、凍結及び万一のガス漏れを防止するため 21ページの「長期間お湯を使用しないとき」にしたがって処置をしてください。

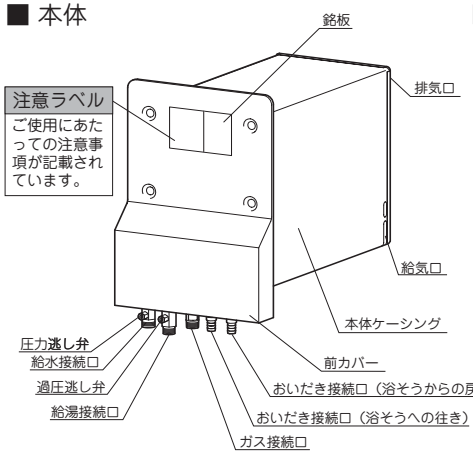
はじめに　各部の名まえとはたらき

■ 標準設置例

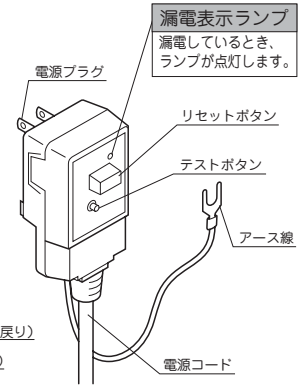


※本図は、浴室のみの配管設置例です。浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。

■ 本体



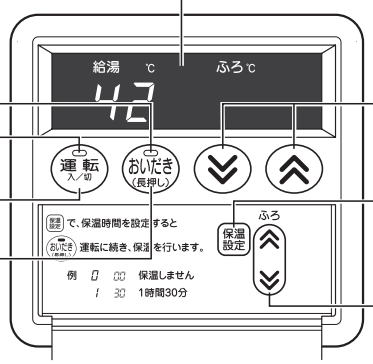
■ 漏電ブレーカー



■ リモコン（FR-260）

※フタを開けた状態

操作部



表示部
工場出荷時、表示モードは「節電」になっています。
操作後、**約30分で表示部は消えます。**
常時点灯したいとき 18

おいだきランプ

運転ランプ

給湯温度設定スイッチ
給湯温度を設定します。 14

運転スイッチ
運転の「入」・「切」をします。

保温設定スイッチ
おいだき運転の時間を変更します。 16

おいだきスイッチ
ふろのおいだきをします。 16

ふろ温度設定スイッチ
おいだき温度を設定します。 16

表示部

※下記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。

燃焼表示

高温注意表示

保温表示

給湯温度表示

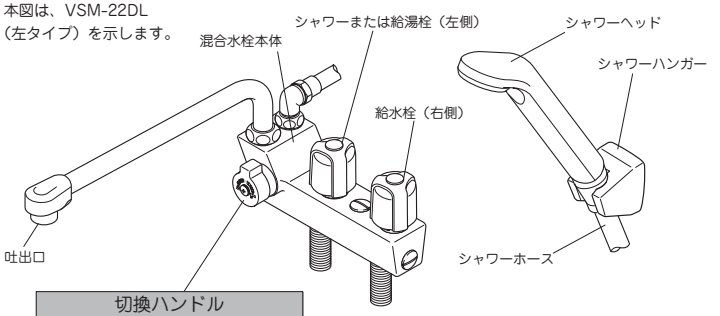
ふろ温度表示

お知らせ

- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。
  しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

■専用混合水栓（別売部品 シャワーセット VSM-22D R/L）

本図は、VSM-22DL（左タイプ）を示します。



切換ハンドル
右に回すと吐出口から吐水し、左に回すとシャワーから吐水します。
ハンドルのノブを中央付近に合わせると一時的に止水できます。
（一時止水機能）

※取扱い及び取付けについては、専用混合水栓（ｼｬﾜｰｾｯﾄ）に同梱の取扱・設置工事説明書をお読みください。

⚠ 一時止水のままにしない

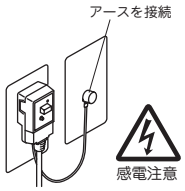
- 一時止水機能を持つ混合水栓使用時で給湯・シャワーを使い終わった後は、切換ハンドル（一時止水）だけで湯水を止めておかないで給湯・給水両栓でしっかり止めておいてください。
  一時止水がきかなくなる恐れがあります。

使用方法　初めてお使いいただくときは

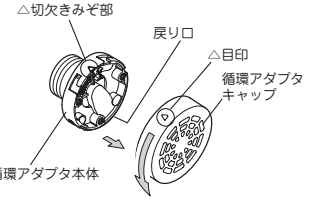
使用前の準備と確認

○初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

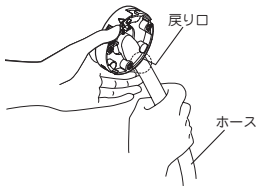
1. **給水栓をいっぱいに開ける。**
2. **給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認する。**
3. **ガス元栓を全開にする。**
4. **漏電ブレーカーを根元まで確実にコンセントに差し込む。**
5. **アース線をアース端子に取付ける。**
6. **ポンプの呼び水をする。**



① 循環アダプタキャップを左へ少し回してから引き外します。



② 循環アダプタ本体の戻り口にホースを押しつけ、約１分間水を入れてください。



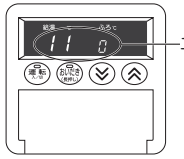
③ 循環アダプタキャップの△目印を△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定し、取付けます。

お知らせ

- 停電復帰後、電源投入（再投入）時は、設定していた温度、保温時間などが工場出荷時の設定になります。

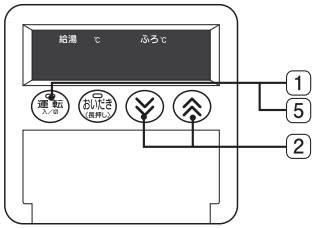
エラーコード 110 が表示したら

- はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。
  この場合、リモコンの運転ランプが点滅し、さらに表示部にエラーコード 110 が点滅し不着火をお知らせします。
  このような場合は、いったん給湯栓またはシャワー栓を閉め、(運転) を押してエラーを解除し、再度 (運転) を押し、給湯栓を開ける操作を２～３回繰り返してください。



使用方法　お湯を使う（温度設定）

○シャワーや給湯の温度をお好みの温度に設定します。
（工場出荷時の設定は 42℃です。）



1 (運転 入/切) **を押す。**

- ■ 運転ランプが点灯します。
- ■ 給湯温度が点灯します。

2 (∨∨)(∧∧) **で温度を変更する。**

- ■ 温度は次のように設定できます。
  37 ～ 50℃（1℃刻み）、60℃
  60℃に設定すると 高温 が点滅し、高温設定音「ピーピッピッピッピッ」でお知らせします。
- ◆ スイッチは１回押すたびに、１℃ずつ調節できますが、(∧∧) を押し続けると 45℃までは連続で変わります。

［60℃設定の状態］

3 **シャワー栓または給湯栓を開ける。**

- ■ 燃焼を開始し、🔥 が点灯します。
- ■ しばらくしてお湯が出ます。

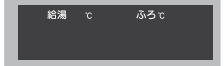
お湯を止めたいときは

4 **シャワー栓または給湯栓を閉める。**

- ■ 燃焼が止まり、🔥 が消灯します。

5 (運転 入/切) **を押す。**

- ■ 運転ランプが消灯します。
- ■ 給湯温度が消灯します。



シャワー・給湯の湯量が少ない（低水圧）のときは

○給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをおすすめします。この場合、湯温を 60℃に設定して使われることをおすすめします。

◆湯と水をミキシングして使用するとき、湯温調節が難しい場合があります。
このとき、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節できます。

⚠ 警告

■やけどに注意する
◆湯温を確認してから使用してください。
■混合水栓使用時のご注意
◆高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。
◆高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には、熱いお湯がでるおそれがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

お知らせ

◆お湯の温度は季節や配管の施工状態により異なります。リモコンでの設定は目安としてお使いください。
◆一度設定した温度は変更するまで記憶しています。
設定した温度が 60℃の場合は、(運転 入／切) を押し（切の状態）、次に (運転 入／切) を押したとき（入の状態）安全のため 42℃に変更されます。
◆お湯の使い始めはしばらくの間、配管内の冷たい水がでます。
お湯が出るまでの時間は、配管の長さによって異なります。
◆水からの沸し直し（おいだき運転）をしているときに、給湯やシャワーを使用するなど給湯能力を超えた場合、十分な湯量や湯温が得られないことがあります。
◆夏期など給水温度が 30℃近くなりますと、低温に設定しても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
◆おいだき（保温）後にお湯を使った場合、おいだきの燃焼であたためられた機器内の水を出す間、しばらく燃焼しないことがあります。
◆トイレの水を流したりし、給水圧が変化した場合、一時的に湯温が変動することがあります。

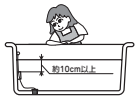
使用方法　おいだき（保温）をする

○水やぬるくなったお湯を設定温度になるようおいだき運転を行います。
（工場出荷時の設定は 40℃です。）

運転前の準備と確認

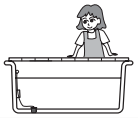
1

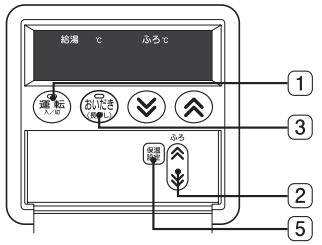
浴そうにお湯（水）が入っていることを確認します。



2

浴そうにふたをします。





1 (運転 入／切) を押す。

■運転ランプが点灯します。
■給湯温度が点灯します。

2 でふろ温度を変更する。

■ふろ温度が点灯します。
■温度は次のように設定できます。
37 ～ 48℃（1℃刻み）
◆スイッチは 1 回押すたびに、1 ℃ずつ調節できますが、を押し続けると 45℃までは連続で変わります。

3 (おいだき（長押し）) を長押しする。

■おいだきランプが点灯します。
■燃焼を開始し、が点灯します。
■浴そう内のお湯（または水）が循環し、おいだき運転を始めます。

4 沸き上がると自動でストップ。

●途中でやめるときは、もう一度 (運転 入／切) または (おいだき（長押し）) を押す。
■「ピーピーピー」音が鳴り、燃焼を停止します。
■表示部の が消灯します。

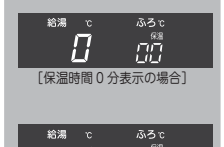
○保温時間を設定すると、お湯が冷めると設定した時間中、保温運転を行い、設定温度までおいだき運転を行います。
（工場出荷時の設定は 0 分（切）です。保温運転は行いません。）

5 **2** **の後、保温設定 を押して保温時間を設定する。**

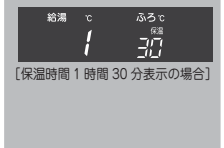
■ 表示部に保温時間が点灯し、保温 が点滅します。
◆ 保温設定 を押さずに5 秒間操作しない状態が続くと、音「ピッ」でお知らせし、元の表示に戻ります。
● 保温設定 を 1 回押すたびに時間が次のように変わります。

0分 → 30分 → 1時間 → 1時間30分 → 2時間 → 3時間 → 3時間30分 → 4時間 → 3時間30分 → 2時間30分 → 0分

■ 最後に 保温設定 を押した後、約 5 秒後設定音「ピッピッピッ」でお知らせし 保温 が 3 秒間点灯します。

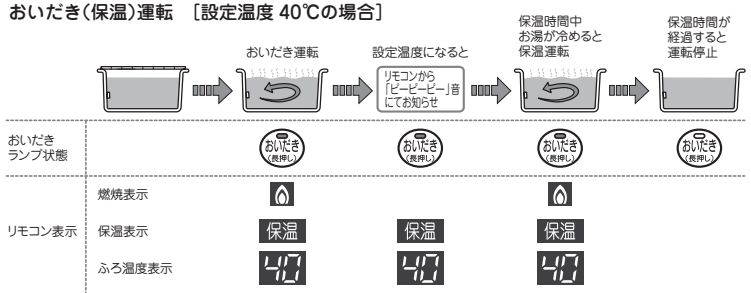


［保温時間 0 分表示の場合］



［保温時間 1 時間 30 分表示の場合］

おいだき（保温）運転　［設定温度 40℃の場合］



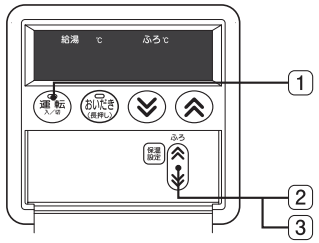
◆ 保温 点灯中に 保温設定 を押すと、保温運転の残り時間を表示します。
◆ おいだきランプ点灯中 おいだき（長押し） に 2 の操作を行うと、ふろ温度を変更することができます。
おいだきランプが消灯 おいだき（長押し） しているとき、浴そうの湯温が低い（ぬるい）場合は、2 3 の操作をしてください。

お知らせ

◆ 一度設定した温度は変更するまで記憶しています。
◆ 約 20 分ごとに機器本体内のポンプが作動し湯温を検知し、設定温度より湯温が下がっていると自動的に設定温度までおいだきします。
このとき、表示部に が点灯します。
◆ おいだき（保温）をする場合、ふろ温度を浴そうの湯温より低めに設定しても浴そうの湯温はそのままです。この場合、一時的に機器本体内のポンプが作動し燃焼することがありますが、異常ではありません。
◆ 浴そうの**残り湯が循環アダプタよりも上にない場合は保温運転を行いません。**

使用方法　表示画面のモードを切替える

○運転入り状態表示画面のモードを節電モード⇔常時点灯モードに切替えができます。
（工場出荷時の設定は節電モードです。）



1 **運転 入/切 を押す。**

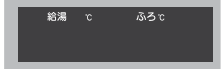
■ 運転ランプが点灯します。
■ 給湯温度が表示します。

2 **の上下を同時に約 3 秒間押す。**

■ 切替え音「ピッピッピッ」でお知らせします。
■ 節電モードから常時点灯モードに切替わります。
■ 給湯温度が常時点灯します。

3 **もう一度節電モードにする場合は、の上下を同時に約 3 秒間押す。**

■ 切替え音「ピッピッピッ」でお知らせします。
■ 常時点灯モードから節電モードに切替わります。
■ 給湯温度が消灯します。



お知らせ

◆ 通常は、節電モードをおすすめします。
◆ 節電モードでは、30 分間操作しないと画面表示が消灯します。
消灯中にお湯を使ったり、**スイッチを押すと点灯します。**
◆ 電源投入時または停電復帰時は節電モードになります。
◆ 節電モードでも給湯設定温度が 60℃に設定されている場合、安全のため画面表示は消灯しません。

このようなときは

凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）

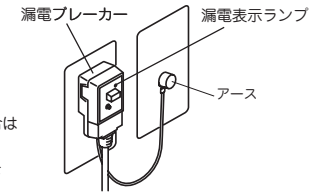
○冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。
次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1．通常の寒さのときの予防方法

凍結予防ヒーターによる方法

漏電ブレーカーを抜かない

◆ 抜けていると**凍結予防ヒーターが作動しません。**
◆ 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。
漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。[23]



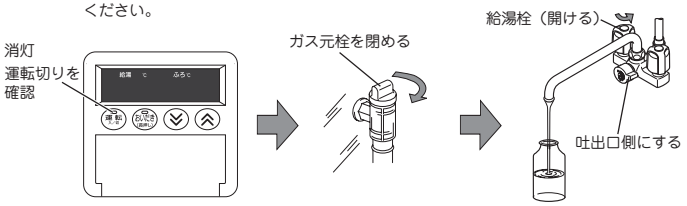
お知らせ

◆ この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、**漏電ブレーカーをコンセントに入れた状態にしておけば**機器内の凍結は予防できます。
◆ 凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。
◆ ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時－15℃まで、有風（4 m／秒）時－10 ℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。
◆ ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。
◆ この機器は外気温が－15℃以下になる場合には、**凍結予防のために水抜き処置が必要**です。[21]

2．冷え込みの厳しいときの予防方法

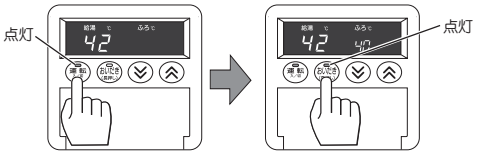
通水による方法（給湯側）

1 リモコンが運転「切」（運転ランプ消灯）になっていることを確認する。
2 ガス元栓を閉める。
3 おふろ場の給湯栓を開けて、1 分間に400cc（牛乳びん２本分）ぐらいの水を浴そうに流し込む。
◆ 流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。

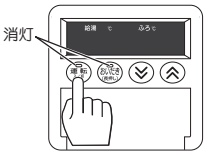


ポンプの水抜きによる方法（おいだき側）

1 浴そうの水を**排水する。**
2 (運転) **を押し（「入」の状態）、**(追いだき 自動) を押す。
◆ 循環アダプタから水を排出します。このとき**ポンプの音が大きくなりますが、**ふろ循環ホース内の水を排水していますので**異常ではありません。**



3 循環アダプタから水の排出が無くなったら (運転) を押す（「切」の状態）。



◆ 水の排出が無くなるとエラーコード 252 を点滅表示することがありますが、異常ではありません。
(運転) を押してください。

※ これらの処置をしても凍結するおそれがある場合は、水抜き [21]［長期間お湯を使用しないとき］を行ってください。

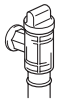
お知らせ

◆ 凍結により、給湯栓・シャワー栓・循環アダプタから水が出ないときは、使用しないでください。
◆ 凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
◆ 再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。
解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
◆ 凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。（有料）
◆ 万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの**販売店または東京ガスへご連絡ください。**

このようなときは　長期間お湯を使用しないとき

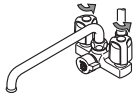
○長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

1 ガス元栓を閉じる。



2 給水元栓を閉じる。

3 給水栓、給湯栓を開ける。

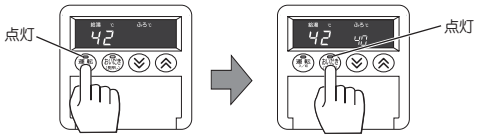


4 水抜栓を外し、配管内の水が抜けたら元通りにする。
（給水、給湯配管に水抜栓がある場合）

5 浴そうの水を排水する。

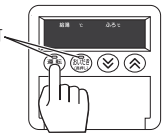
6 (運転) を押し（「入」の状態）、(おいだき) を押す。

◆ 循環アダプタから水を排出します。このとき**ポンプの音が大きくなりますが、**
ふろ循環ホース内の水を排水していますので**異常ではありません。**

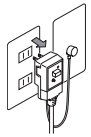


7 循環アダプタから水の排出が無くなったら(運転) を押す（「切」の状態）。

◆ 水の排出が無くなるとエラーコード 252 を点滅表示することがありますが、
異常ではありません。
(運転) を押してください。



8 漏電ブレーカーをコンセントから抜く。



● 再使用については「初めてお使いいただくときは」13 にしたがってください。

必要なときに　点検・お手入れ

⚠ 注 意

■ お手入れの前には、ガス**元栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行う**
● 機器使用中および使用終了直後は、排気口や**機器本体が高温になっていますので、**
やけどする**おそれがあります。**

高温注意

■ 機器やリモコンは、絶対に分解しない
● 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。

分解禁止

点検のポイント

● 機器の上やまわりに燃えやすいものがありませんか。4
● 給気口・排気口が布**やビニールなどでふさがっていませんか。**
● 機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
● ガスのにおいはしませんか。3 ガス漏れに気づいたとき
● 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。5
● 機器の外観に異常は見られませんか。
● 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。23 漏電ブレーカーの点検

お 願 い

機器外観やリモコンのお**掃除をされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけて**
拭き**とったあと**、からぶきします。

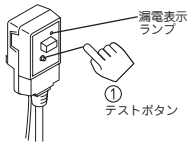
◆ ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。
傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
◆ シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれの**おそれが**
あります。
◆ リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。
リモコンの故障の原因になります。
◆ 循環アダプタのお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。
変色、変形の**おそれがあります。**

◆ 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。

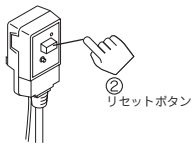
■漏電ブレーカーの点検

必ず行う

● 漏電ブレーカーが正しく作動することを確かめるため、次の操作を**行ってください。**
① テストボタンを押します。 →漏電表示ランプが点灯します。
② リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。
● 月に１回以上の作動確認を**行ってください。**



※ 正しく作動しないときは、機器の使用を止め、漏電ブレーカーを抜いて、お買い求めの**販売店または東京ガスへご連絡ください。**
※ 点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。
再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら漏電ブレーカーを抜き、お買い求めの**販売店または東京ガスへご連絡ください。**
※ 作動確認後は設定していた温度、保温時間、画面表示など**が工場出荷時の設定になります。**
・給湯温度 42℃ ・**おいだき（保温）温度** 40℃ ・**保温時間** 0分
・画面表示 節電モード

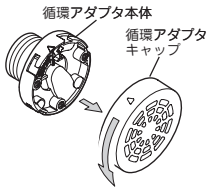


■循環アダプタのお手入れ

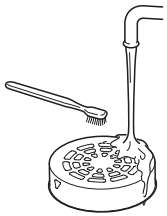
必ず行う

● 循環アダプタの汚れや詰まりのお掃除は、循環アダプタキャップを取外して水で洗います。
● 循環アダプタ**キャップが目づまりしたまま使用しますとおいだき（保温）運転が正常に動作**しなかったり、故障の原因になり**ますので**、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

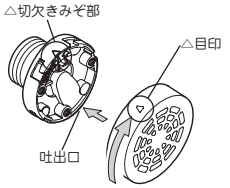
① **循環アダプタキャップを左へ**
少し回してから引き外します。



② **循環アダプタキャップを**
歯ブラシ等で水洗いします。



③ **循環アダプタキャップの△目印を**
△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定します。



お知らせ
● 循環アダプタキャップは、必ず正常に取付けて使用してください。外したままや、正常**に取付けられていない状態で使用しますと故障の原因になります。**

故障かな？ 修理を依頼される前に

次のことをお調べください

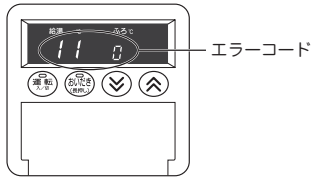
現　象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	●漏電ブレーカーがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。[23] ●停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 ●凍結していませんか。[19][20]
あついお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給湯またはシャワーを２ヶ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 ●水量を絞りすぎていませんか。**（夏期）** ●給水元栓が全開になっていますか。
おいだきができない	●浴そうの水（湯）が循環アダプタより上にありますか。 ●**呼び水をしましたか。**[13]
おいだきがすぐ消火してしまう	●おいだき温度設定が低くなっていませんか。 ●循環アダプタキャップがはずれていませんか。[23] ●循環アダプタキャップの向きは、正しいですか。[23]
浴そうの上下の温度差が大きい	●循環アダプタキャップの向きは正しいですか。[23] ●循環アダプタキャップが目詰りしていませんか。[23]
設定した温度が記憶されていない	●停電が起きていませんか。 ※１秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度、**保温時間などが工場出荷時の設定になります。**[23]

故障かな？ エラーコード表示がでたら

○機器に異常が発生したら、リモコンでお知らせします。

(1) 異常が発生したら、お知らせします。

◆ リモコンの表示部にエラーコードを点滅表示します。



例：エラーコード 110 の場合

(2) 下記のエラーコードが表示された場合は、処置の内容を行う。

表 示	原 因	処 置
110	点火エラーが生じたため	ガス元栓が**全開になっているか確認する。** (運転) を押す。 ■ エラーが解除されます。 再度 (運転) を押し使用してください。
120	使用中、途中消火（失火）が生じたため	
140	安全装置が**作動したため**	安全装置の作動または故障が考えられます。 修理依頼してください。
252	ふろ循環系統の故障または異常が生じたため	浴そうの循環アダプタキャップが**十分につかるまで** 水（湯）がはってあることを確認してください。 (運転) を押す。 ■ エラーが解除されます。 再度 (運転) を押し使用してください。
100	給排気および燃焼に異常が生じたため	お湯を使用することはできますが、十分な能力が出ない状態ですので、修理依頼してください。
990		機器が使用できない状態ですので、修理依頼してください。

その他のエラーコードが表示される場合は、お買い求めの販売店または東京ガスへご連絡ください。

(3) 再度使用する。

◆ **再度エラーコードが表示される場合は、故障の可能性があります。使用を中止して、**エラーコードを控えていただき、お買い求めの販売店または東京ガスへご連絡ください。

お知らせ

● 使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、漏電ブレーカーの作動が考えられますので、23 の要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

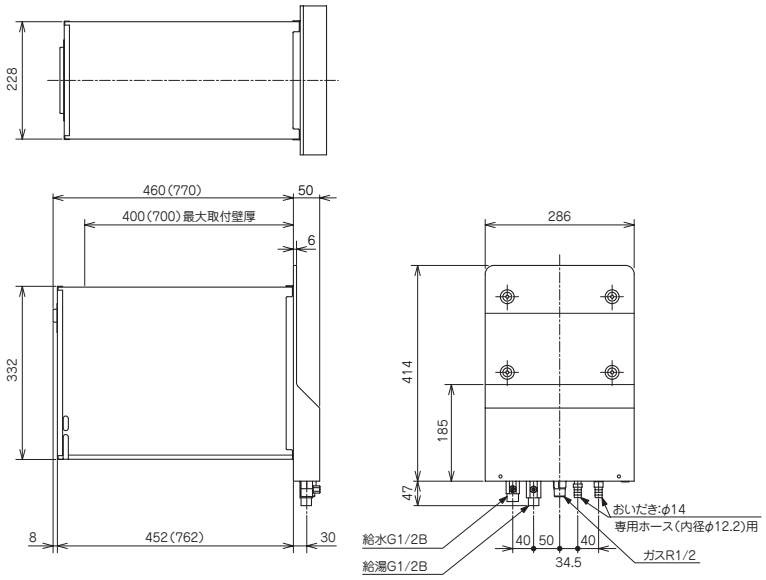
次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理 由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますので、**お湯が出てくるまでには、**少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後７分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
おいだきが終了してもしばらく音がする。	消火後20秒間はポンプを回転させて、**おふろのお湯をかくはんしています。**
寒い日に排気口から白い湯気がでる	寒さにより**排気の中の水蒸気が白く見える現象で、異常ではありません。**
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
おいだきを始めると循環アダプタからボコボコ音がして泡が出る。	おいだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約 2L/ 分以下）と消火します。 また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯が**出ない。**	**夏期など給水温度が 30℃近くなりますと、低温に設定しても湯量が**少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
あついお湯が出ない。	**冬期など給水温度が低いときに 60℃設定しますと、設定温度どおりの**お湯が出ない場合があります。 水からの沸し直し（おいだき運転）をしているときに、給湯やシャワーを使用するなど給湯能力を超えた場合、十分な湯量や湯温が得られないことがあります。
給湯量が変化する。	給水**温度の変化に応じて、給湯量を自動的に制御しています。** 夏期は給湯量が多く、冬期は少なくなりますが、異常ではありません。
お湯を使うと循環アダプタから少量の水が出る。	おいだき配管内の空気が膨張して水が押し出されるためのもので、**異常**ではありません。
お湯を出しても、🔥が点灯しない（しばらくして点灯する）	おいだき（保温）後にお湯を使った場合、**おいだきの燃焼であたためられた**機器内の水を出す間、**しばらく燃焼しないことがあります。**

その他　寸　法　図

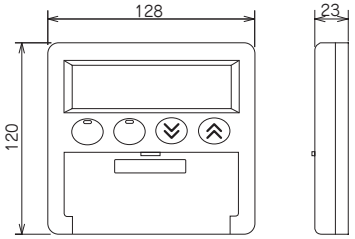
■本　体　　この図は、HK-808RFWHG です　※（　）寸法は HK-808RFLHG 示します。

単位：mm



■リモコン

単位：mm



その他　仕　　様

■ HK-808RFWHG,HK-808RFLHG 仕様表

項　目		仕　様	
外形寸法（本体）		幅 286 ×高さ 461 ×奥行 510mm	
		幅 286 ×高さ 461 ×奥行 820mm　※1	
壁貫通部寸法		幅 228 ×高さ 332 ×奥行 460mm	
		幅 228 ×高さ 332 ×奥行 770mm　※1	
質量（本体）		16 kg	
		19 kg　※1	
接続寸法	ガス	R1/2（TU 接続）	
	給水・給湯	G1/2B	
	ふろ循環	φ14mm 専用継手	
標準ガス消費量 kW	ガス質	13A	12A
	給湯 最大	18.5（15,900kcal/h）	17.5（15,000kcal/h）
	給湯 最小	5.8（5,000kcal/h）	5.5（4,700kcal/h）
	ふろ	12.0（10,300kcal/h）	11.5（9,900kcal/h）
	同時（最大）	21.0（18,000kcal/h）	19.5（16,800kcal/h）
電気定格	電源	AC100V（50 / 60Hz）	
	消費電力	60 W	
	凍結予防用ヒーター	64 W	
	待機時消費電力	2.1 W	
最低作動水圧		19.6 kPa（0.2kgf/cm^2）	
使用水圧		53.9（動水圧）～ 784kPa（0.55 ～ 8kgf/cm^2）	
制御システム	給湯	フィードフォワード＋フィードバック式ガス比例制御	
	ふろ	温度設定沸上げ（37 ～ 48℃）、（給湯比例制御追従式）	
	ファン制御	DC ファンによる回転数制御	
排気温度		260℃以下	
安全装置		・立消え安全装置　・過熱防止装置　・ファン回転検知 ・沸騰防止装置　・漏電ブレーカー　・過圧逃し弁 ・残火安全装置　・凍結予防用ヒーター	

※ 1 は HK-808RFLHG の寸法、質量です。

■ 出湯能力

ガス種	標準号数（号）		温度上昇と標準出湯量（ﾘｯﾄﾙ／分）				
			水温 +15℃	水温 +25℃	水温 +30℃	水温 +40℃	水温 +50℃
13A	能力大	8.5	14.2	8.5	7.1	5.3	4.3
	能力小	2.5	4.1	2.5	–	–	–
12A	能力大	8.0	13.3	8.0	6.7	5.0	4.0
	能力小	2.4	3.9	2.4	–	–	–

上記数値は計算値です。

その他

アフターサービスについて

アフターサービスのお申し込み

● アフターサービス（点検・修理）を依頼される前に「修理を依頼される前に」24、25を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店または東京ガスへご連絡ください。
ご連絡の際には次のことをお知らせください。
1．お客様名、住所、電話番号、道順
2．品　名・・・HK-808RFWHG　（機器コード 11-055-25-10818）
HK-808RFLHG　（機器コード 11-055-25-10819）
3．故障、異常の現象・・・（表示ランプの状態・エラーコードの表示など、できるだけ詳しく）
4．訪問ご希望日

● 混合水栓のアフターサービスについてはお買い求めの販売店または、混合水栓の取扱説明書に記載の連絡先へご連絡ください。

転居される場合

● ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの**販売店またはもよりの東京ガスにご相談ください。**
この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証・補修について

● 保証期間中の故障修理について
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書**（保証書付）を大切に保管してください。**

● 保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの**販売店または東京ガスにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、**お客様の要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後 10 年間です。

定期点検のおすすめ（有料）

●機器をより安全にお使い頂くために、定期的（年に一回程度）に点検を受けてお手入れされることをおすすめします。
なお、本機器は給水用具（逆流防止装置）を内蔵しております。給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に**示されている定期点検の実施をおすすめします。**
時期は**4～6年に1回程度の点検をおすすめします。**
点検はお買い求めの販売店、またはもよりの**東京ガスにご相談ください。**

メモ欄として活用してください。

メモ欄として活用してください。

— 32 —

メモ欄として活用してください。

— 31 —

保証書

品　　名　HK-808RFWHG
　　HK-808RFLHG

型 式 名　WF-806
　　WF-806L

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1　保証期間は、お買い上げの日から２年間とし本体(リモコンを含む)を対象とします。**なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。**
　熱交換器……３年
2　万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出下さい。原則として、出張修理いたします。
3　サービス員がお伺いした時に、保証書をご提示下さい。
4　保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
（１）住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
（２）取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
（３）器具を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
（４）お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
（５）建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う磨耗等により生じる外観上の現象
（６）強い腐食性の空気環境に起因する不具合
（７）犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
（８）火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
（９）電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
（１０）指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
（１１）給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
（１２）温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
（１３）本保証書を紛失された場合
5　無料修理やアフターサービス等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　東京ガス株式会社
〒105-8527　東京都港区海岸１丁目５番２０号

保証責任者　株式会社 ハウステック
〒173-0004　東京都板橋区板橋３―９―７（板橋センタービル）

■お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日

販　売　店		取扱者	
住　　所			
電 話 番 号			

修理記録
この本体の修理記録は、前カバー裏に添付の作動フローチャートに記録します。

■お客さまへ
1　この保証書をお受け取りになる時に、販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2　本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3　無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の頁をご覧ください。
4　この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

TOKYO GAS　共通お問い合わせ先

0570―002211　※弊社お客さまセンターへ転送されます。

●日立、甲府、群馬、熊谷、宇都宮の各エリアのお客さま、およびＰＨＳ等共通お問い合せ先をご利用できない場合は、下記へお問い合わせください。

ガスご使用場所	お問い合わせ先
千代田・中央・大田・品川・港区	03 (5722) 0111
渋谷・目黒・新宿・中野区	03 (5722) 3111
江東・墨田・台東・文京・荒川区	03 (3842) 0111
葛飾・足立・江戸川区，草加・八潮・三郷市	03 (3603) 0361
千葉・四街道・八街・印西・八千代・佐倉・白井市，印旛・本埜村	043 (242) 6121
木更津・君津・袖ヶ浦・富津市	0438 (23) 1245
世田谷区，調布・狛江市	03 (3426) 1111
杉並区	03 (3396) 1111
武蔵野・三鷹市	042 (254) 0111
東久留米・西東京・清瀬市	042 (463) 0111
立川・東村山・小平・国立・多摩・稲城・日野・国分寺・小金井・府中・東大和・所沢市	042 (524) 2111
八王子市	042 (645) 0511
練馬・豊島・北・板橋区，朝霞・和光・新座市	03 (5394) 7700
さいたま・川口・戸田・鳩ヶ谷・蕨・上尾・蓮田・久喜市，伊奈・菖蒲・白岡町	048 (651) 1131
横浜市	045 (948) 1100
川崎市	044 (245) 2211
逗子・鎌倉・藤沢市，葉山市	0466 (26) 0111
横須賀・三浦市	046 (823) 1570
町田・大和・相模原・座間・海老名・綾瀬市，城山町	042 (742) 6721
茅ヶ崎・平塚・南足柄市，寒川・大磯・中井・開成町	0463 (22) 2616
龍ヶ崎・牛久・つくば・取手市，利根・阿見町	0297 (62) 8111
日立市	0294 (22) 4131
甲府・中央市，昭和町	055 (253) 1341
高崎・前橋・藤岡市，榛名町	027 (322) 2523
熊谷・行田・鴻巣・深谷市	048 (522) 5171
宇都宮・真岡市，上三川・芳賀・高根沢町	028 (634) 1911

●インターネットでのお問い合わせ・カタログのご請求等は、下記までお願いいたします。
「ご家庭のお客さま向けホームページ」 http://home.tokyo-gas.co.jp
■ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、上記のお問い合わせ先、または販売店にお願いします。

販売店名

製造者　株式会社 ハウステック
〒173-0004　東京都板橋区板橋 3-9-7 （板橋センタービル）

■所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います（平成 20 年 4 月現在）